

阿波市のトンボ相

昆虫班 (徳島昆虫研究会)

吉田 一夫*

要旨: 阿波市阿波町・吉野町の総合学術調査にあたり、昆虫班の一員としてトンボ類の調査を担当した。トンボ類は飛翔力があり、今回の調査区域の間に市場町及び土成町があって、両地のみでの調査では間に空白ができることから、阿波市全域を調査対象とした。筆者の地元でもあり、これまでも十分な調査を進めてきたが、なお綿密に調査した結果、絶滅危惧とされているもの数種を含めて10科67種のトンボ類を記録することができた。

キーワード: 阿波学会総合学術調査、昆虫類、トンボ目、阿波市

1. はじめに

阿波市は吉野川中流域の北岸に位置し、北は讃岐山脈で香川県と接している。南は吉野川にのぞみ、讃岐山脈を水源として宮川内谷川、日開谷川、大久保谷川など幾本かの河川が南に縦貫し、扇状地を形成している。この扇状地には大小多くの溜池があり、これらの水辺がトンボ類の主な生息環境となっている。

阿波市内におけるトンボ類に関する資料としては、本会の学術調査報告書において「市場町のトンボ類(平井, 1979)」、「土成町のトンボ類(平井, 1990)」がある。これらには10科36種のトンボが報告されている。また、ビオトープ相栗(市場町大影)では9科46種が記録されている(吉田, 2000, 2001, 2002)。これらと筆者の現地調査結果を合わせて、阿波市内におけるトンボ目のリストを作成した。

2. トンボ目リスト

均翅亜目 Zygoptera

カワトンボ科 Calopterygidae

1. ハグロトンボ *Calopteryx atrata* Selys
2. ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia* Selys
3. アサヒナカワトンボ *Mnais pruinosa* Selys
4. ニホンカワトンボ *Mnais costalis* Selys

ヤマイトトンボ科 Megapodagrionidae

5. シコクトゲオトンボ *Rhipidolestes hiraoui* Yamamoto

アオイトトンボ科 Lestidae

6. アオイトトンボ *Lestes sponsa* (Hansemann)
7. オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* Selys
8. ホソミオツネトンボ *Indolestes peregrinus* (Ris)
9. オツネトンボ *Sympetma paedisca* (Brauer)

モノサシトンボ科 Platyenemididae

10. モノサシトンボ *Coperca annulata* (Selys)

イトトンボ科 Coenagrionidae

11. ケイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys
12. ホソミイトトンボ *Aciagrion migratum* (Selys)
13. アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* (Rambur)
14. アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer
15. クロイトトンボ *Paracercion calamorum calamorum* (Ris)
16. オオイトトンボ *Paracercion sieboldii* (Selys)
17. ムスジイトトンボ *Paracercion melanotum* (Selys)
18. セスジイトトンボ *Paracercion hieroglyphicum* (Brauer)

ムカシトンボ亜目 Anisozygoptera

ムカシトンボ科 Epiophlebiidae

19. ムカシトンボ *Epiophlebia superstes* (Selys)

不均翅亜目 Anisoptera

ヤンマ科 Aeshnidae

20. サラサヤンマ *Salasaeschna pryori* (Martin)
21. コシボソヤンマ *Boyeria maclachlani* (Selys)
22. ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* (Selys)
23. カトリヤンマ *Gynacantha japonica* Barteneff
24. ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* (Selys)
25. マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* (Selys)
26. ギンヤンマ *Anax parthenope julius* Brauer

* 阿波市市場町大俣字久光49-1

27. クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus*
nigrofasciatus Oguma

サナエトンボ科 Gomphidae

28. ホンサナエ *Gomphus postocularis* Selys
29. ヤマサナエ *Asiagomphus melaenops* (Selys)
30. キイロサナエ *Asiagomphus pryeri* (Selys)
31. ダビドサナエ *Davidius nanus* (Selys)
32. クロサナエ *Davidius fujiama* Fraser
33. タベサナエ *Trigomphus citimus tabei* Asahina
34. フタスジサナエ *Trigomphus interruptus* (Selys)
35. オジロサナエ *Stylogomphus suzukii* (Matsumura in Oguma)
36. アオサナエ *Nihonogomphus viridis* Oguma
37. オナガサナエ *Onychogomphus viridicostus* (Oguma)
38. コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys
39. タイワンウチワヤンマ *Ictinogomphus pertinax* (Selys)
40. ウチワヤンマ *Sinictinogomphus clavatus* (Fabricius)

オニヤンマ科 Cordulegastriidae

41. オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* (Selys)

エゾトンボ科 Corduliidae

42. オオヤマトンボ *Epopthalmia elegans* (Brauer)
43. コヤマトンボ *Macromia amphigena amphigena* Selys
44. トラフトンボ *Epitheca marginata* (Selys)
45. タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Förster

トンボ科 Libellulidae

46. ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra* (Selys)
47. ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata asahinai* Schmidt
48. シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* (Uhler)
49. シオヤトンボ *Orthetrum japonicum japonicum* (Uhler)
50. オオシオカラトンボ *Orthetrum melania* (Selys)
51. コフキトンボ *Deilinia phaon* (Selys)
52. ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia mariannae* Kiauta
53. ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum elatum* (Selys)
54. ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* (Selys)
55. アキアカネ *Sympetrum frequens* (Selys)
56. マユタテアカネ *Sympetrum eroticum eroticum* (Selys)
57. マイコアカネ *Sympetrum kunkeli* (Selys)
58. ヒメアカネ *Sympetrum parvulum* (Barteneff)
59. リスアカネ *Sympetrum risi risi* Barteneff
60. ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* (Selys)
61. コノシメトンボ *Sympetrum baccha matutinum* Ris
62. ネキトンボ *Sympetrum speciosum speciosum* Oguma
63. キトンボ *Sympetrum croceolum* (Selys)
64. オオキトンボ *Sympetrum uniforme* (Selys)
65. コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* (Burmeister)
66. チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa* Selys
67. ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius)

3. おわりに

阿波市内からは徳島県で記録されているトンボ類11科93種の内、10科67種が確認された。この中には徳島県の絶滅のおそれのある野生生物としてNo.33のタベサナエが絶滅危惧Ⅰ類に、No.20のサラサヤンマ、No.64のオオキトンボが絶滅危惧Ⅱ類に、No.4のニホンカワトンボ、No.28のホンサナエ、No.30のキイロサナエが準絶滅危惧に指定されている。タ

ベサナエとニホンカワトンボは市場町の日開谷水系で生息しているものの個体数も少なく、河川改修工事や台風等の出水による影響を受けやすいため、生息地の保全が望まれる。オオキトンボは過去の記録から一応リストに加えたが、ここ10年以上確認されておらず、阿波市内では絶滅している可能性もある。サラサヤンマ、ホンサナエは確実な発生地が特定出来ず、継続的な調査が必要である。

また、全国的に水田を主な生息地とするアカトンボ類（トンボ科アカネ属）の減少が指摘されているが、阿波市内でもその傾向が認められる。特に稲作文化に適応して繁栄してきたナツアカネ、アキアカネなどは、ここ10年ほどで激減しているように思われる。水田の乾田化もひとつの要因と考えられるが、詳しい原因はよくわからない。水田環境でアカトンボ類が見られなくなるのは寂しい限りである。同じアカネ属の仲間でも流水性のミヤマアカネは2008年に阿波町大久保谷川流域で多数の個体が確認されたが、2009年には殆ど見られなくなり、今後の発生状況が気になる。

この他、特筆すべき種としては四国特産種であるNo.5のシコクトゲオトンボやNo.6のアオイトトンボ、No.16のオオイトトンボ、No.30のキイロサナエ、No.57のマイコアカネ、No.58のヒメアカネは僅かな記録しかなく、これらも最近では確認されていない。

生きた化石と呼ばれているムカシトンボは幼虫の記録はあるものの成虫の報告はなく、調査が必要である。

文献

- 平井雅男 (1979)：市場町のトンボ類。総合学術調査報告 市場町；25-35。阿波学会。
平井雅男 (1990)：土成町のトンボ類。総合学術調査報告 土成町；93-97。阿波学会。
むさしの里山研究会編 (2005)：全国一斉アカトンボ調査報告書：103pp。むさしの里山研究会。
杉村光俊ほか (1999)：原色日本トンボ幼虫・成虫大図鑑：917pp。北海道大学図書刊行会。
徳島県版レッドデータブック掲載種検討委員会編 (2001)：徳島県の絶滅のおそれのある野生生物。
吉田一夫 (2000)：トンボの里通信 (2)。
吉田一夫 (2001)：トンボの里通信 (3)。
吉田一夫 (2002)：トンボの里通信 (4)。
吉田一夫・布川洋之 (2009)：徳島県のトンボ、337pp。